

# 救急医療管理加算2「その他の重症な状態」の患者の介入状況

厚生労働省 中医協・総会 2021年10月27日の資料をもとに作成

- 救急医療管理加算2の算定患者のうち、「コ その他重症な状態」の患者について、最も多くみられた入院時の状態は「脳梗塞」であった。

脳梗塞		腎臓又は尿路の感染		股関節・大腿近位の骨折		肺炎		ヘルニアの記載のない腸閉塞	
71,282人		39,270人		32,536人		32,099人		29,933人	
酸素吸入	3700 (5.2%)	留置カテーテル設置	4450 (11.3%)	留置カテーテル設置	8976 (27.6%)	酸素吸入	6994 (21.8%)	ドレーン法(その他のもの)	4941 (16.5%)
酸素吸入	2782 (3.9%)	酸素吸入	3137 (8.0%)	骨折観血的手術(肩甲骨、上腕、大腿)	4855 (14.9%)	喀痰吸引	2949 (9.2%)	胃持続ドレナー	4643 (15.5%)
喀痰吸引	1195 (1.7%)	導尿	1586 (4.0%)	酸素吸入	2975 (9.1%)	留置カテーテル設置	1881 (5.9%)	イレウス用ロングチューブ挿入法	3635 (12.1%)
高気圧酸素療法(その他のもの)	771 (1.1%)	喀痰吸引	1507 (3.8%)	輸血(保存血液輸血)	2908 (8.9%)	導尿	878 (2.7%)	ドレーン法(持続吸引を行うもの)	1884 (6.3%)
鼻腔栄養	591 (0.8%)	摘便	455 (1.2%)	人工骨頭挿入術(肩、股)	2056 (6.3%)	超音波ネブライザー	693 (2.2%)	酸素吸入	1538 (5.1%)

# 救急医療管理加算「意識障害又は昏睡」の患者に行われている処置等

厚生労働省 中医協・総会 2021年10月27日の資料をもとに作成

- 「意識障害又は昏睡」又は「意識障害又は昏睡に準ずる状態」の患者でJCS 0の患者とJCS 1以上の患者の処置・手術を比較すると以下のとおりであった。
- 救急医療管理加算1を算定する患者については、JCS 0の患者の一部において、「非開胸的心マッサージ」や「人工呼吸」といった、緊急性が高いと思われる処置が行われていた。

救急医療管理加算 1 (令和2年度)				救急医療管理加算 2 (令和2年度)			
JCS 0 (n=28326)		JCS 1 以上 (n=239982)		JCS 0 (n=10925)		JCS 1 以上 (n=46980)	
処置・手術	患者数	処置・手術	患者数	処置・手術	患者数	処置・手術	患者数
酸素吸入	8,533(30.1%)	酸素吸入	89,880(37.5%)	酸素吸入	2,080(19.0%)	酸素吸入	12,036(25.6%)
留置カテーテル設置	5,978(21.1%)	留置カテーテル設置	75,610(31.5%)	留置カテーテル設置	1,364(12.5%)	留置カテーテル設置	9,737(20.7%)
喀痰吸引	3,185(11.2%)	喀痰吸引	52,997(22.1%)	喀痰吸引	641(5.9%)	喀痰吸引	6,114(13.0%)
<u>非開胸的心マッサージ</u>	2,352(8.3%)	非開胸的心マッサージ	30,378(12.7%)	導尿 (尿道拡張を要するもの)	325(3.0%)	導尿 (尿道拡張を要するもの)	1,926(4.1%)
<u>人工呼吸</u> (30分までの場合)	2,078(7.3%)	救命のための 気管挿管	28,244(11.8%)	創傷処置 (100cm <sup>3</sup> 未満)	214(2.0%)	鼻腔栄養	1,780(3.8%)